

放課後児童クラブ

仕事などにより、昼間に保護者が家にいない小学生を対象に、授業が終了してから夕方まで安心して過ごせる場所を提供します。指導員がおり、遊びや生活の指導などをを行います。

対象児童

原則として、仕事などにより昼間保護者が在宅していない小学校1年生から3年生までの児童が対象となります。

利用方法

希望する児童クラブに連絡して、登録を行ってください。



屋外で元気に遊ぶ子供たち!

平成18年度鹿屋市放課後児童クラブ一覧表

クラブ名	所在地	電話番号
鹿屋学童育成クラブ	大手町	42-2663
寿学童育成クラブ	寿5丁目	41-2568
わかば児童クラブ	寿4丁目	44-5234
こばと児童クラブ	川西町	42-4480
笠之原児童育成クラブ	笠之原町	42-2919
二葉児童クラブ	上谷町	44-6107
はらい川児童クラブ	祓川町	42-2250
西原台学童育成クラブ	今坂町	44-6577
花岡児童育成クラブ	花岡町	46-3764
和光児童クラブ	横山町	48-2931
エンゼル児童クラブ	札元2丁目	43-9353
南部幼稚園学童クラブ	下堀町	44-6850
吾平児童クラブ	吾平町上名	58-8220
いずみ幼稚園学童クラブ	吾平町上名	58-6893
細山田保育園 わんぱく児童クラブ	串良町細山田	62-2026
正徳仲良しクラブ	串良町岡崎	63-2186
上小原児童クラブ	串良町上小原	63-3657

市外局番は全て0994です



放課後、児童クラブに来た子供たちは、まず、学校の宿題を済ませます。

輝北 農業公社研修生の 修了式と受入式



4月5日、輝北町農業公社研修棟で、財団法人輝北町農業公社の研修生の修了式と受入式が行われました。

式には、2年間のスプレー菊栽培の研修を終え輝北地区で新規に就農する第5期研修生3人と、これから新たにスプレー菊栽培の研修を受ける第7期研修生の3人が出席。「輝北の菊を全国に広めたい」「一日も早く栽培技術をマスターしたい」と抱負を語りました。

鹿屋 早く地域にとけ込んで



4月5日、鹿屋運動公園屋内運動場で鹿屋体育大学の新入生230人の歓迎会が開催されました。

この歓迎会は、市内の各種団体でつくる地域づくり交流実行委員会が、地域住民と触れ合うことで新入生に早く地域にとけ込んでもらおうと毎年行っているもの。大鍋で煮た豚汁や煮しめ、天ぷら、焼肉など、用意された約500食分の料理を囲みながら交流が深められました。

鹿屋 交通事故から子供を守る



4月6日、入学式が行われた市内の各小学校でピッカピカ作戦が行われました。

これは、市内の新入学児童全員に黄色い帽子や鈴付きワッペンなどの交通事故防止グッズを配り、児童を交通事故から守ろうと鹿屋市交通安全協会などが毎年行っているもの。鶴羽小では、入学式を迎えた新入学児童に「入学おめでとう」と声をかけながら、交通事故防止グッズを配っていました。

休日保育

日曜・祝日に、仕事などのため家庭での育児ができない場合に、子供を預かり保育します。

実施場所

左記の2か所で行います。
事前に確認してください。
大黒保育園(下高隈町) 453078
愛育園(新川町) 410820

対象児童

原則として、認可保育所に入所している児童で、日曜・祝日も仕事などのため家庭での育児ができない場合に、対象となります。
私的理による場合は、対象となりません。
認可保育所に入所していない児童でも、ほかに支障がない範囲で保育します。ただし、この場合は、勤務証明書等の提出が必要となります。

【開所時間】
8時～17時(原則)
7時30分～18時
【利用料金】
1日あたり
0歳児………1,500円
1歳以上児………1,000円
1時間あたり
0歳児………300円
1歳以上児………200円
【昼食費】
200円
【年齢は、登録申請のあった月の初日を基準とします。】

【利用方法】
事前に登録(毎年度)が必要です。市子育て支援課(番窓口)、又は総合支所健康

鹿屋 串良 吾平



投薬できる 救急救命士誕生

3月30日、大隅肝属地区消防組合の橋口浩美消防司令補が、救急患者に強心剤の投与ができる「薬剤投与認定救急救命士」の認定を受けました。

救急患者による強心剤の投与は、4月1日の法改正により可能になった救命処置。170時間もの講習と50時間の病院実習を経て認定を受けた橋口消防司令補は、「救命率向上につなげたいですね」と抱負を語ってくれました。

鹿屋 串良 吾平



消防指令の 新システムを導入

4月3日、大隅肝属地区消防組合本部の通信指令室で、高性能消防指令システムの運用開始式が行われました。

最先端技術を駆使した同システムは、119番通報を受けて入力すると瞬時に発生場所の周辺地図を画面に表示。同時に消防・救急車両の運用状況を確認して出動命令を出すほか、消防団や病院などの関係機関に一斉連絡する仕組みになっています。これまでのシステムと比べ、初動が約2分短縮でき、初動体制の迅速化と防災活動の円滑化が期待されています。

串良

新しい国際交流員 (CIR) が着任



4月10日、鹿屋市の新しい国際交流員(CIR)に、韓国出身の金徳姫さんが着任しました。

「大隅半島は自然がとてもきれいなところ。韓国の料理や文化を紹介したいですね」と話す金さんの任期は1年。串良総合支所を活動の中心にして、友好親善盟約を結ぶ串良地区の3小学校と韓国の小学校の橋渡し役をはじめ、韓国料理講座の開催や通訳、翻訳など様々な活動を行う予定です。

鹿屋

旧鹿屋航空基地特別攻撃隊戦没者追悼式 平和の尊さを確認



4月8日、今坂町の小塚公園で旧鹿屋航空基地特別攻撃隊戦没者追悼式が行われました。

これは、旧海軍鹿屋航空基地から特別攻撃隊として出撃していった908人の霊を慰めようと毎年行われているもので、当日は全国各地から生存者や遺族、関係者など約450人が参列。式では、山下市長が「今日の平和と繁栄は、祖国のために尊い命を捧げられた戦没者の方々のおかげです。心よりご冥福をお祈りいたします」とあいさつ。その後、遺族などによる献花、遺書朗読、生存者による「同期の桜」の合唱が行われ、平和の尊さが確認されました。

鹿屋 吾平 輝北 串良



4月7日、吾平、輝北、串良の各シルバー人材センターが、4月1日付けで鹿屋市シルバー人材センターに統合されたのを記念して、市文化会館で統合記念式典が開催されました。

この統合は、シルバー人材センターが、ひとつの自治体に、ひとつのセンターと決められていることから、1市3町の合併に伴い行われたもの。関係者約800人が出席した式典では、大迫理事長が「多様化する市民のニーズに応え、地域社会の重要な担い手としてその役割を果たしたい」とあいさつしました。

今回の統合により鹿屋市シルバー人材センターの会員数は、約900人となります。

シルバー人材センターの統合記念式典を開催

吾平

あいさつにひと声添えて



4月6日から1週間、吾平町道徳教育推進員が、吾平地区内20か所で、ひと声添えたあいさつ運動を展開しました。

この運動は、『おはよう』のあいさつに一言添えて、子どもたちと、心の響き合う交流を行おうというもので、今年で4年目。「学校にはもう慣れた?」「得意な科目はなに?」といった、推進員の一言添えたあいさつに、子どもたちも元気に返事をしていました。

鹿屋

外灯 14 基をきれいに



4月12日、霧島ヶ丘公園で電気工事のボランティア作業が行われました。

これは、鹿屋肝属電気設備協同組合が、公園の外灯をきれいにして訪れる人に喜んでもらおうと、毎年実施しているもので、約40人が参加。高所作業車8台を使って、園内に設置された外灯14基のサビ落としや塗装、電球の取り替えなどを行いました。

輝北

日枝神社畜産まつり開催



4月9日、輝北町市成の日枝神社で畜産まつり(輝北町商工会主催)が開催されました。

まつりは、畜産振興を祈願するため、牛馬の神と知られ「山王どん」の愛称で親しまれる日枝神社で毎年行われています。約2,000人が訪れた境内には多数の店が立ち並び、ステージでは踊りやカラオケ、太鼓などが披露されたほか、スポーツ少年団による剣道大会、弓道大会も行われ、にぎわっていました。

また、畜産まつり恒例の抽選会では、輝北町上百引の濱屋カツエさんが特賞の黒毛和牛一頭を見事引き当て大変喜んでいました。

鹿屋

不法投棄されたゴミを撤去



4月9日、霧島ヶ丘公園の周辺で、鹿児島県産業廃棄物協会大隅支部が中心となって、不法投棄ゴミの撤去を行いました。

これは、「かのやばら園」のランドオープンを前に、周辺の環境美化を進めようといわれたもので、108人が参加。道路沿いの山林などに捨てられた、テレビや冷蔵庫、自転車などの粗大ゴミをはじめ、大量の空き缶やペットボトルなど約3トンのゴミを撤去しました。

串良

国際空手道選手権大会で準優勝



4月8・9日に千葉市で開催された国際空手道選手権大会の組み手女子12歳～14歳45kg以上の部に出場した細山田中学校3年の山川綾夏さん(串良町細山田)が、準優勝しました。

同大会は、幼児から高校生まで出場する大会で、日本を含む欧米、アジアなど15か国から約1,200人が出場。山川さんは、「今までの練習の成果を発揮できた結果です」と話してくれました。

輝北

加瀬田ヶ城旗争奪ゲートボール大会を開催



4月8日、輝北町上百引の輝北運動場で、第18回加瀬田ヶ城旗争奪ゲートボール大会が開催されました。

大会には大隅地域全域から50チーム、約300人が参加。お互いの親睦を図りながら、日ごろの練習の成果を競い合いました。成績は次のとおり。

【優勝】かもめ(寿2丁目)
【準優勝】上之原(肝付町)
【3位】仮屋B(下高隈町)

輝北 KIHOKU
**婦人消防隊が
 日本消防協会長表彰を受賞**



輝北町つわぶき婦人消防隊（重田久代隊長、隊員11人）が日本消防協会長表彰を受賞したのを受け、4月18日、県庁で表彰伝達式がありました。

同消防隊は、平成13年に全国女性消防操法大会に県代表として出場したほか、発足以来地域の老人宅を訪問したり、出初式に参加するなどして防火意識の高揚に努めてきました。今回の表彰は、このような活動が評価されたものです。

串良 KUSHIRA
**飯田機械株式会社と
 立地協定**



4月24日、鹿屋市役所で東京都に本社を持つ飯田機械株式会社と鹿屋市の立地協定の調印式が行われました。

同社は、主に工作機械、医療機器等の設計、製作、販売を行う会社として昭和46年に創業。今回、医療機器（外科用縫合針）の国内での需要増に早急に対処するため、優秀な人材の確保が期待される鹿屋市への進出が決定しました。新工場は串良町上小原に設置し、今年6月に操業開始を予定。新規雇用者は当初11人、将来的には約30人が見込まれており、地域経済の発展に貢献するものと期待されています。

吾平 AIRA
始良川にアユを放流



4月16日、始良川河川愛護会が、始良川にアユの稚魚40kg（約1,000匹）を放流しました。

放流は、始良川をアユの住むきれいな川にして、人と川のつながりを深めようと、昭和56年から毎年行われているもの。「大きく育てよ！」と声をかけながら放流された体長12cm程の稚魚は、6月中旬には体長20cm程に成長。始良川でアユ釣りを楽しめるようになるそうです。

串良 KUSHIRA
**（仮称）熱回収施設及びリサイクルセンター
 建設工事の安全を祈願**



4月18日、串良町下小原で（仮称）熱回収施設及びリサイクルセンター建設工事の安全祈願祭が開催されました。

安全祈願祭には、工事関係者など約60人が参加して、刈りめや杭打ちをはじめ、玉串の奉納を行い安全を祈願。その後、肝属地区一般廃棄物処理組合管理者を務める山下市長が「3年かけて安全で環境にやさしい施設を選択した。2市4町17万4千人が利用するごみ処理施設として、この施設の機能を十分発揮されなければならない」とあいさつしました。

平成20年3月末には、1日あたり128トンの家庭ごみの熱処理及び17.1トンをリサイクルできる、地下1階、地上5階建ての施設が完成する予定です。

鹿屋 KANOYA
踏み台 52 台を寄贈



4月10日、鹿屋市建具木工組合が建具の日（4月10日）に合わせて、木製の踏み台52台を寄贈しました。

この踏み台は、足腰の弱い高齢者などに、段差がある玄関や風呂場などで活用してもらおうと贈られたもの。用途に合わせて数種類あり、幅は約40cm～60cmで、高さは20cm前後。市内10か所の在宅介護支援センターを通じて高齢者などに贈られました。

鹿屋 輝北 串良 KANOYA KIHOKU KUSHIRA
58 頭が元気に入牧



4月19日、市営鳴之尾牧場で入牧式が行われ、生後6か月から12か月令の子牛58頭が緑豊かな牧草地に放牧されました。

今年は鹿屋地区（12戸29頭）に加え、輝北地区（4戸10頭）串良地区（8戸19頭）からも入牧。標高約480m～550mにある同牧場に放たれた子牛は、起伏に富んだ傾斜地で足腰が鍛えられ、自家育成牛に比べ乳量と出産回数が増え、耐用年数も1年以上長くなります。放牧期間は1年～2年ほどで、人工授精で受胎後、各酪農家に里帰りします。

輝北 KIHOKU
**輝北グリーンハイキング
 を開催**



4月29日、きほく上場公園で輝北グリーンハイキング（輝北うば公園まちづくり公社主催）が開催されました。

これは上場公園の爽やかな新緑を満喫してもらおうと毎年行われているもので、市内外から101人が参加。8kmのハイキングコースを約2時間かけて歩きました。また、終了後は、全員に認定証が配られたほか地元特産品が当たる抽選会が行われ盛り上がりしていました。

吾平 AIRA
収穫を楽しみに田植え



吾平地区の小中学校の児童及び生徒が、4月7日から12日にかけて早期水稻の田植えを行いました。

これは、米作りを通して、豊かな人間性を育てようと、総合学習の時間を利用して行われた体験学習で、下名小学校では、学校近くの田んぼ約948㎡で、5・6年生34人が田植えに挑戦。子供たちは、慣れない田んぼに悪戦苦闘しながらも、収穫を楽しみに一苗一苗丁寧に植えていました。

吾平 AIRA
**功績をたたえ
 消防庁長官表彰を受賞**



昨年の2月8日に、吾平町上名の東原地区で発生した土砂災害時の功労が称えられ、吾平消防団（田畑昭南団長、団員129人）が消防庁長官表彰を受賞しました。

この災害では幅80m、高さ20mにわたり土砂が崩れ、団員は発生した火災の消火と生き埋め者の救助作業に徹しました。今回の表彰は、この時の冷静沈着な判断力と、一致団結した行動力が認められたものです。